

令和二年度 大学院人文科学府修士課程第1期入学試験問題
(国語学・国文学)

- 一 別紙Aの影印を全文翻字せよ。(二〇点)
- 二 別紙Bの記事について日本語学的観点から分析を加えよ。(二〇点)
- 三 次の事項について知るところを記せ。(四〇点)
 - (1) 今昔物語集
 - (2) 小説神髓
 - (3) 終助詞
 - (4) 和名類聚鈔
- 四 次の中から志望専攻に応じて一問を選択し、解答せよ。(二〇点)

(国文学・古代)

 - ・ 三代集のそれぞれの特色について説明せよ。

(国文学・近代)

 - ・ 自然主義派と反自然主義派の主張するところを、それぞれ代表的な作家・作品を何点か挙げながら説明せよ。

※解答は縦書きにすること。

令和二年度 大学院人文科学府 修士課程第1期入学試験問題
(国語学・国文学)

別紙 A

きらやうきつてはつとせんころかてたう
井よりれもて表よりたうそおれえはける
とのくろくは腕よりうとせいのわじ
にたりかこもをんきりたもそおりい
心のうらよあいなうむひあうりくそおれさう
うきく又もそるまをわうぬゆたひと物
つうきよもそとつうきいつてもおきりたう
けるこを中くふるきつとくはうりやれ指の若
殿よりとくは言ありたもあうとせはる人
めあやうと年の君をわきくせをすつる

別紙 B

梅花歌以二首 并序

天平二年正月十三日 萃于师老之宅中宴會也于時
初春令月氣泮風和梅披鏡前之粉蘭薰珮後之香

加以曙嶺移雲松樹羅而傾蓋夕岫結霧鳥封穀而迷
林遲舞新蝶空歸故鴈於是蓋天坐地似昧飛觴忘言
一室之裏開於煙霞之外澹然自放快然自足若非翰苑
何以據情詩紀落梅之篇古今未何異矣宜賦園樂聊成
短詠

武都紀多知波流能吉多良婆可久斯許曾焉梅乎
乎利都多坊之岐乎倍米 大氣化卿